



だいざわ地区社協だより

第34号

令和5年3月25日発行



～地域の皆様の笑顔が広がるために～

令和4年度下半期、代沢地区社協は、高齢者や多世代交流事業などに取り組みました。

11月

地区交流事業

3年ぶりの

『サロンだいざわ』

11月8日(火)に、高齢者交流事業として『地域でつどいましょう』に続き、『サロンだいざわ』を、代沢まちづくりセンターの活動フロアにて開催しました。

コロナ感染予防対策のため、事前申込制でしたが、当日参加の方もあり、スタッフ含め52名の方にご参加いただきました。

“エリプシス”というお名前で、社協地区サポーターとしても活動していらっしゃる女性二人バイオリンとピアノ(キーボード)の方に、“♪上を向いて歩こう”等の懐かしい曲を10曲あまり演奏していただきました。

最後の曲目は、“♪花は咲く”でしたが、早くコロナが収束し、また皆様と楽しく歌える日が来てほしいと感じました。

事業担当リーダー 黒田陽子

12月

地区交流事業

『ボッチャを

楽しもう!』

12月4日(日)に、多世代交流事業として、代沢小学校 体育館で『ボッチャを楽しもう!』を開催しました。多世代交流事業としては3年ぶりの開催となります。

未就学児から高齢者の方までスタッフ含め68名の方にお集まりいただき、初心者も経験者も、一緒にからだを動かし、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。

世田谷区スポーツ振興委員会の方をお招きし、講義や審判をしていただき、今大流行中の「ボッチャ」という競技への理解が深まりました。

会の終わりには「またやりたい!」「もう一試合!」との声をいただきました。今後も地域の方々との触れ合いの輪が広がり、ますます絆が深まっていくことを願っています。

事業担当リーダー堤朝子(代沢小PTA副会長)



令和4年度のご報告

コロナ禍にもかかわらず、今年度も多くの皆様にご理解ご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

《代沢地区》

社協会費

会員数

1,340 件

会費総額

930,400 円

歳末たすけあい・地域支えあい募金

募金総額

930,200 円



令和5年3月1日現在

1月

地区交流事業

『新春たこあげ会』

1月7日(日)、富士中学校校庭で多世代交流事業『新春たこあげ会』を行いました。

3年前に始めました『新春たこあげ会』はコロナ感染状況を鑑み延期してきましたが、多くの方々のワクチン接種が浸透したことでもあり、コロナ感染ガイドラインに則して行うことにいたしました。

寒い朝でしたが、154人に参加いただき、子供たちは手作りした凧に思い思いの絵を描き、天まで届けと言わんばかり校庭を走り回り自ら風を起し高く舞う凧を見て、参加された皆さんも楽しんでいただけたことと思います。

事業担当リーダー 木村元治



地域活動支援事業

2月

《代沢小学校福祉学習》2/28

「視覚障害の理解」と白杖・アイマスク体験

NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会(世視協)と協力して、福祉学習が安全に行われるよう、地域福祉推進員がお手伝いをしました。(小学5年生73名対象)



【福祉講話】
世視協 大竹理事長

子どもたちは皆、世視協大竹理事長からの福祉講話を熱心に聞き、白杖・アイマスク体験では、「最初怖かった」「まわりの人の助けが大事だと思った」等の感想を述べていました。

また、「(目の不自由な方へ) どうやって声をかけたらよいか？」など質問も活発に出て、子どもたちの障害への理解が深まった様子でした。



【白杖・アイマスク体験】

2月

研修事業

『推進員研修会』2/21

～認知症とともに生きる希望条例について～

希望条例の評価委員である大熊由紀子氏と中澤まゆみ氏を講師にお迎えし、「認知症は誰でもなりうる・今までの認知症の考え方を变えることが大事」等のお話をうかがいました。

アンケートからは「予防より、そなえが大事ということがわかった」「まわりの人にも伝えたい」という声が聞かれ、今後の活動に役立つ学びの機会となりました。

知ってください！

白杖SOSシグナル

白杖を頭上50cm程度に掲げている視覚障害の方を見かけたら、SOSのサインです。

何に困っているのか、どのようにサポートしたらよいかを聞きましょう。



通年

社協会費募集中です

社協会費募集は通年行っておりますので、ご協力いただける場合には、どうぞ地区事務局までご連絡ください。

お預かりした会費は、代沢地区社協の活動や世田谷区社協事業の貴重な財源として、地区地域における福祉向上のために役立ててまいります。

※なお、社協会費は振込みでも受け付けています。詳細はこちらからご確認いただけます。→

世田谷区社協 検索